

☆☆浜通り医療生協☆☆ ☆☆大震災・津波被害・原発による被害☆☆ ☆☆応援ありがとうございます☆☆

2011年3月21日

救援物資等ありがとうございます・ひき続きお願ひいたします



20110312 永崎地域↑



20110312 江名地域→

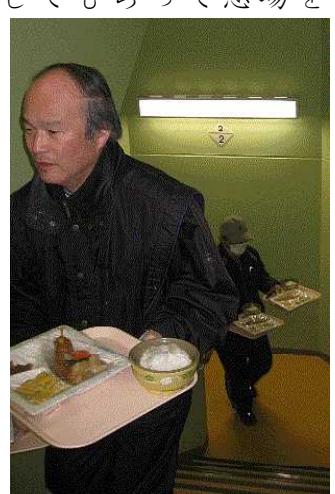
全国からの応援支援ありがとうございます。大地震、津波後も踏ん張る福島県いわき市にある小名浜生協病院ですp(^^)q。津波被害ですが、幸い死亡者は職員にはおらず、総代にも死亡者不明者ともおりません。しかし、写真のような状況もあり、自宅が全壊職員5名、住めなくなったり職員1名です。

病院建物は無事。給水、ガソリン確保に全力投球中。



現場職員は特別シフトを敷いて、慢性疾患患者対応、入院患者対応にあたっています。介護福祉部職員は、利用者の安否確認とショートステイ、高齢者住宅等利用者を病院通所に避難させサービス提供に努めました。

事務職員は、水とガソリンの確保に全力投球。理事の手配で3トントラックと水タンクを確保、職員のタンク提供もあり、ピストン輸送できています。病院1km先まで水は来ていますが、反対側から給水しているため、見通しが立ちません。ガソリンは、当座利用しない車から抜き活用。また職員、組合員から不急の車から提供してもらって急場をしのいでいます。



「余震」でエレベーターストップ

たびたび起きる余震でエレベーターがストップ。専務理事（左）はじめ、給食は階段にて運び上げ。

気になる原発災害放射線

18日にわたり病院から斎藤D.rに来ていただき、放射線について「現状、放射線は大丈夫、津波被害の復興に全力を挙げましょう」と職員へ安心するよう、ご講話いただきました。また、放射線技師が病院敷地で定点観測中。自治体発表とほとんど変わりありません。

(発行) 浜通り医療生協 組織部 (機関紙編集・広報担当) 箱崎元一